

令和7年度（2025年度）

学校関係者評価 報告書

学校法人巨樹の会
小倉リハビリテーション学院

本報告書は、学校法人巨樹の会 小倉リハビリテーション学院の職業実践専門課程認定に関わる学校関係者評価委員会の評価結果を記したものである。

令和8年7月1日

学院長 宮崎 澄雄

学校評価実施責任者
副学院長 磯邊 恵理子（令和7年度）

<目次>

- 1 学校関係者評価の概要と実施状況
 - 1) 学校関係者評価の目的、方針
 - 2) 学校関係者評価委員
 - 3) 学校関係者評価委員会の開催
 - 4) 学校関係者評価の実施
- 2 学校関係者評価の内容
 - 項目Ⅰ 教育理念、教育目的・目標、人材育成像
 - 項目Ⅱ 学校運営
 - 項目Ⅲ 教育活動
 - 項目Ⅳ 学修成果
 - 項目Ⅴ 学生支援
 - 項目Ⅵ 教育環境
3. 総合所見及び改善計画・今後の展望

1 学校関係者評価の概要と実施状況

1) 学校関係者評価の目的、方針

- ①関係業界・職能団体、高等学校、卒業生、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その妥当性を確認し、客観性・透明性を高めることを目的とする。
- ②学校関係者評価により、本校の学校運営・教育活動における課題を明確にし、その意見を参考に学校運営の改善を図る。
- ③学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」および本校の学校評価実施規程に則り実施する。

2) 学校関係者評価委員

委員氏名	所 属	選出区分
船津 昌章	折尾愛真高等学校	高校等評価委員
伊藤 均美	北九州市立沼市民センター	地域住民
岡田 和敏	西南女学院大学	学術委員
鳥井 聡	門司掖済会病院	企業等委員
岩木 大佐	介護老人保健施設 桜丘	企業等委員
角川 政喜	健和会 大手町診療所	卒業生

(※ 敬称略、順不同)

3) 学校関係者評価委員会の開催

第1回委員会	日 時	令和8年3月13日(金) 14:00-16:00
	内 容	今年度の自己点検・評価報告書に基づく最終評価

4) 学校関係者評価方法

令和7年度の自己評価結果の内容を確認し、課題や改善が望まれる項目及びその解決策について、下記のポイントに留意しながら検討を行った。

- ① 自己評価の結果およびその内容は適切か否か。
- ② 課題やその解決策は適切か否か。
- ③ 学校の運営改善に向けた取り組みは適切か否か。
- ④ その他、評価委員からの助言。

2 学校関係者評価の内容

1) 評定基準

自己評価、学校関係者評価に共通して、各項目の評価は下記に示す達成度による3段階の評定基準にて実施する。

- 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている
- 2：概ね基準を満たしている
- 1：基準を満たしておらず改善が必要

2) 学校が実施した「自己点検評価報告書」に基づき、各項目の適切性を評価した結果を以下に示す。

評価項目	学校の自己評価概要	委員会による評価・意見	学校の対応・改善策
【項目Ⅰ】 教育理念・目的・目標	教育理念「共生」を掲げ、心豊かで信頼され、暮らしを支える理学療法士・作業療法士の育成を目標としている。（評価３）	特に問題なし。	現場や外部委員の意見を取り入れて時代のニーズに合わせて目標を見直していく。
【項目Ⅱ】 教育課程、教育の実施、学修成果	養成する人材像の実現に向け、系統性・段階性に配慮した体系的な教育課程を編成している。講義・演習・実習の各形態で適切な教材を用い、一部講義の動画化など ICT を活用した復習支援も行っている。（評価３）	診療報酬や勤務体制など医療の現状や現場のリアリティを実感できるような教育を実施し、医療職としての意識を高めていく必要性がある。	１年次から医療職としての倫理を学ぶが継続的に学ぶ機会を設ける。診療報酬に関しては３年次の管理学において学ぶが実習前後でも確認する。
【項目Ⅲ】 学生の受入れ、学生支援	入学前には基礎課題やプレ講義等の教育を行い、入学後もセミナーや個別指導、スクールカウンセラーによる心理支援、一泊研修による対人関係構築支援を実施している。（評価３）	専門学校が強みをもっとアピールしてほしい。中学校への出前授業の機会を作ってはどうか。多様な学生も増えてきているため環境に適應できる能力も養ってほしい。	学力不足に起因する退学者の防止を継続的に実施する。また専門実践教育訓練給付金の認定更新手続きも確実に履行していく。
【項目Ⅳ】 教育実施組織・教員	指定規則を上回る教員を配置し、専門分野に応じた役割分担と、国家試験対策でのチーム指導を行っている。 担任・副担任制や学年別のデスク配置により、教員間の情報共有を円滑化し意思決定を迅速に行っている。（評価３）	引き続き、授業評価の結果を学生たちへフィードバックし教員の質の向上に努めてほしい。	一部教員への業務偏重の是正と ICT 活用による事務効率化を推し進めていく。 教員が研究活動をするまでに至っていないため、従事できる時間も確保し根拠のある教育活動に努めていく。
【項目Ⅴ】 教育環境	施設・設備は関係法令に適合しており、今年度は外壁塗装や全館のエアコン更新、自転車置き場の整備といった計画的な大規模改修を実施し、環境を大幅に改善した。寮の移転に伴う準備も進めた。（評価３）	学生のために安価なお弁当や経済的な寮費など、魅力的な環境である。	既存の防災マニュアルを現状に合わせ見直しを実施する。 定期的に環境整備を図り、適切な取り扱い・老朽化による事故予防や備品の破損を防いでいく。

【項目Ⅵ】 教育活動の基盤と改善・向上の取組	18歳人口の減少を見据え、職域拡大を視野に入れた中長期計画の再定義を進めている。 学校改善のための定例会議も実施している。 地域貢献として、熱中症対策や部活動支援等の出前講座、ボランティア活動を活発に実施し、産学官・地域連携を強化している。 財務面ではエアコン更新による光熱費削減やペーパーレス化を推進している。 (評価2～3)	今後は専門分野以外でも対応できる能力が必要だと考えられる。ハイブリッド教育など多様な学びを取り入れる方針はよい。地域ボランティアも高齢者の方々にとても好評であるため引き続き依頼していきたい。	学生の地域マナー向上と、ボランティア活動への自主的な参加意欲の醸成を図る。 社会ニーズの変化に対応した持続可能な財務基盤の確立を推し進めていく。
---	---	--	--

3. 総合所見及び改善計画・今後の展望

【委員会からの総合所見】

とても良い教育体制が出来ている。しかしその魅力が十分伝わっていないのではないかと感じるのもっと強みをアピールして欲しい。

すべての項目で3の評価が妥当である。

【学校の改善計画・今後の展望】

本委員会の評価結果を真摯に受け止め、以下の通り改善に取り組みます。

1. 教育内容に関して：学生が医療職としての意識が高まるように初年次教育に力を入れる。またハイブリッド教育につながる取り組みを検討する。
次年度も地域貢献活動に力を入れ、学生と主にボランティア活動を実施する。
2. 学校運営：ガイダンスやオープンキャンパスでは専門学校の魅力をアピールするような説明へと再度見直しを図る。
3. 情報公開の推進：本報告書および改善状況は、学校ホームページ等を通じて広く社会に公表します。